

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	にっこり・しあわせ・のびのびと自分らしい生活を の理念を掲げその理念を各ユニット玄関に掲示し取り組んでいる。理念に添った支援ができていないかをカンファレンスで話し合っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度から地域のお祭りなどが再開され、小規模とともに参加している。	無理せず地域に出て行けるオープンな雰囲気大切と思います。反面、コロナ増加のためあまりしない方がよいという御意見もある。		コロナだけでなく、感染症等に注意しながら、可能な範囲で地域参加していけるように致します。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より2ヶ月に1回集合での会議を再開しており、町内会長や民生委員、地域包括、家族等が参加し、報告やご意見をいただいている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	山科区役所担当課に、推進会議議事録を持参し、協力関係を築けるようはたらきかけている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアのヒヤリハットを毎月一人一枚提出し、自身のケアを振り返ることで、安易なスピーチロックを防ぐ取り組みを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修があれば参加し、他職員にも伝達している。日々職員間で注意をはらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修があれば参加し、他の職員にも伝達している。また、虐待の防止・権利擁護については法人内で年2回の研修あり、酸化し事業所内で伝達している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に口頭と書面にて十分な説明を行っており、改正等あればその都度説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各階入口に意見箱を設けている。家族には年に1回アンケート調査を行っている。運営推進会議にて家族や地域の方から意見を聞いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱の存在は知っていたが、意見を入れる為にあるとは認識していなかったという御意見があったので、再度周知させていただきます。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のユニットカンファにて、ケアプラン以外の業務に関する意見も聞き、反映させている。その他早急性があるものはその場で意見を聞きその都度反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回職員の自己申告を元に面談を実施している。また、力量評価(キャリアパス)を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初級力量評価(キャリアパス)にて力量評価をし、管理台帳にて把握し、研修にはできるだけ参加できるよう勤務調整している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響により実施できていなかった。法人内ではあるがエリア内での会議で情報交換や交流もしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人生の先輩であり、日々の家事についていろいろ尋ね教えて頂くことが多い。共に支えあう生活は、生活支援という側面や利用者同士の精神的な支え合いにも発展している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が、ご家族だけでなく親戚等も含め、連絡先がわかる方への連絡を希望されるときはその都度支援している。	記憶がさだかでない人もいますので直接ではなく管理者に職員の上実 行する事が個人情報を守るために有効であるかもとご意見頂く。		家族様や利用者様にとって大切な内容の時等必要な時は管理者で対応させて頂くようにします。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話から、希望や意向を引き出し把握するよう努めている。また、ご利用者の思いを本人の立場になって振り返る機会を毎月実施して、より良いケアの提供につなげている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からは日々の会話、家族からは連絡時に話を聞き、それにプラスするかたちで各職員の意見を加え、今の現状にあった介護計画を作成している。往診医・訪問看護師にも意見を頂いている。	個別でしっかりと作られていると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録はケアプラン見直し時のモニタリングやアセスメントとして使用し常にケアにフィードバックしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて可能な限り支援につなげている。	やっていただいていると思うが少し形式にとらわれている部分もあるかと思われる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より催しが再開になりつつあり、すこしずつ参加している。	コロナ後は致し方ないが前はそこそこやっていただいていた様に感じる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後も希望により、長年慣れ親しんだかかりつけ医を利用できるよう支援している24時間の医療連携をしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の相談員と連絡を取り合い、早期退院に向けて準備している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現場で起こる事はあるだろうけど、その後の対応がすばらしかったのを経験しているので、しっかりしていただいていると思う。とご意見いただいたので、今後も言って頂けるよう職員一同研鑽いたします。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特養の申し込みも平行しながら、家族と終末期について話し合い、家族の希望を繰り返し確認している。看取りについての意向確認も状況に応じて進めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	救命救急の講習会を受講している。以前は医療行為とされていたが、介護職ができるようになった11項目についての法人内での研修に参加。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	避難訓練は1回/2ヶ月実施 地域の自主防災訓練にも参加している。 町内の防災器具庫を当施設に設置。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	不適切ケアのヒヤリハットを作成し情報共有することで、ケアの振り返り、適切な言葉かけを工夫する取り組みを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出来るかぎり各利用者個人のペースを大切にし希望にそえるような支援を心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響により、利用者の食事作りは実施できていなかった。テーブル拭きや食器拭きなど職員と協力して行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の状態によって食事形態を変えて提供している。塩分・飲水・糖分制限・アレルギーなど			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	必要な方には歯科衛生士による口腔ケアを受け、またその指示に従って、適宜、歯磨きやうがいを行っている。4回/日の口腔ケアができるように取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者の排泄パターンあわせた、排泄の言葉かけを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々、各利用者の希望に添えるよう入浴の支援をしている拒否があればそれで終わるのではなく言葉かけの方法を変えたりまた言葉かけをする職員を交代するなどしている。どうしても困難な場合は後日にする。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者に合わせ、好きな時間に休息できるよう支援している。昼寝や就寝の時間は利用者一人一人の状態に応じて支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の薬がすぐわかるように、薬説明書を介護日誌にはさみ全職員が把握している服薬はマニュアルに沿って実施。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者に合った、生きがい・役割を考え支援している。今年度から外出が出来るようになったので、コロナ感染に注意しながら考えていっている。外気浴は毎日行っている。	あまり出来ていないとなっているが、利用者が希望した食事等を手作りしパーティなど行い、出来ていると思います。		感染症に注意しながら今後も出来る範囲で行っていきます。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度から外出が出来るようになったので、コロナ感染に注意しながら考えていっている。外気浴は毎日行っている。	地域参加や外気浴などある程度は出来ているのではないかと？コロナ中は仕方ないが以前は普通にできていたと思う。		家族様の中にはホーム外の交流は感染症の危険があると思われる方もおられますので、十分に注意し感染予防に努め可能な範囲での外出支援を行いたいと思います。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望により小銭を所持する方はいる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	架電希望あればその都度支援している。利用者が書いた年賀状や、手紙はその都度家族宛に送る種類に同封している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と一緒にリビングや玄関に季節の花を飾ったり、折り紙等で季節に応じた作品作りを行っている。食事の時はテレビを消して音楽をかけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話から、希望や意向を引き出し把握するように努めている。また、利用者の思いを、本人の立場に立って考えるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話を通し、これまでの生活歴やなじみの暮らし方の把握に努めている。ご家族からも話を聞いている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎週の訪問看護や訪問歯科、月2回の往診による医療連携や、状態の変化があればPT,STなどの専門職の支援を受けケアにつなげている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り本人の意向に沿うように努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時になじみのものを持参して頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より再開になっている催事も多く、少しずつ以前のように参加出来るよう支援している。	コロナ後は仕方のない事、以前は外食もさせていただいて楽しんでた。外部の催事に個別に参加はリスクも高すぎて困難。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事に注目し、出来る為の工夫を行うことで出来る事を継続できるように支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るかぎり一対一の関りを行い、その時に本人の訴えを傾聴し、思いに沿う事や笑顔で過ごせるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響があったが、今年度より地域の催しが再開になりつつあり、コロナ感染に注意しながら少しずつ参加していつている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出が出来なかったが、今年度より外出が出来るようになったので、コロナ感染に注意しながら少しずつ支援を行っている。また、職員と親しみを持って接している。	世の中の状況と本人の人生的環境から考えて十分な生活を送れていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	